PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2025 年 11 月 5 日

奈良から世界へ広がる“災害に強いインフラ”の知恵
～10 か国のエンジニアが紀伊砂防（赤谷地区）に学ぶ～

JICA 関西では、（一財）近畿建設協会のご協力を得て、「インフラ施設（河川・道路・港湾）災害対策とマネジメント」研修を 9 月 12 日から 11 月 28 日まで実施中です。本研修では、開発途上国 10 か国（マレーシア、東ティモール、パキスタン、ヨルダン、トルコ、南アフリカ共和国、モーリシャス、コンゴ民主共和国、南スーダン、ナイジェリア）から、母国のインフラ施設の災害対策に携わるエンジニア 10 名が来日し、関西地域の事例も視察しながら災害対策技術を学びます。

11 月 6 日、10 名のエンジニアは奈良県の紀伊砂防事務所を訪問し、砂防ダムの役割や整備の実際について学びます。視察先の赤谷地区は、平成 23 年の台風 12 号による紀伊半島大水害で甚大な斜面崩壊が発生した地域であり、その後、砂防設備の整備が進められ、現在は最終段階を迎えています。こうした実際の災害経験と、それに基づく復旧・防災対策の現場を視察することで、研修員が災害リスクの高い地域におけるインフラ整備の重要性や、長期的な視点での国土強靭化の考え方を学ぶことが期待されます。研修員の出身国の中には、大雨による土砂災害に悩まされる国も多いため、この視察が各国における災害対策のヒントとなるはずです。

以下の日程で取材や研修員へのインタビューが可能ですのでぜひご検討ください。
※当日は日本語⇔英語通訳が同行いたします。

取材可能日程

11/6（木） 14:30～15:30	視察「紀伊砂防（赤谷地区）」 場所：赤谷地区（奈良県五條市） （奈良教育大学自然環境教育センター奥吉野実習林近傍）

参考：紀伊砂防（赤谷地区）視察中の様子（昨年度）

-ご取材いただける場合は事前にご連絡下さい-

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 研修業務課
TEL 078-261-0383